2007年 6月1日 No. 2 1



大津市中央1丁目5-25

小堀マンション2030号室 きざなみネッ

(金融労連・全国金融一般労働組合滋賀支部) TEL · FAX 077-522-7868

金融労連•個人加盟労組第5回合同準備会開催

全国金融労働組合連合会個人加盟労組合同準備会は、 5月12日から13日にかけて、静岡市において第5 回準備会を開催しました。金融労連の個人加盟労組の 代表など10人が集まりました。全国金融一般労組か ら鈴木委員長と山﨑書記長が参加しました。

初日は、全体会議を行った後、組織・規約部会と財 政部会に分かれて論議しました。 組織・規約部会で は「組合規約案」をもとに論議を進め、財政分会は各 組合の財政状況や問題点を出し合い、統一に向けた課 題などを論議しました。

2日目は、各部会での論議をもとに、全体会議を行 い論議を進め、次の確認をしました。

合同へ向けたスケジュール

地方組織や単組の状況を勘案して2段階で進めま す。第1段階は2008年夏を目途に取り組みます。

・地方組織について

支部一金融労連 の地方組織に対応 分会—都道府県· 行政区单位、企業 ごとにも当面可) (ブロック一必要 に応じて数分会ご とに設定)



の短縮を

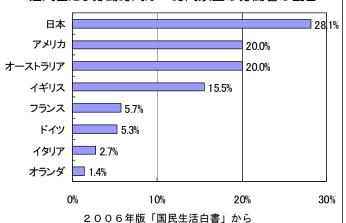
「仕事も家庭も大切にして働き続けたい」と願いなが ら、多くの女性たちが「いまの仕事の状態では、仕事と 両立できない」などの悩んでいます。。

いま、労働力を維持し、税や社会保険料の担い手をつ くる上で「少子化対策」は政府・財界にとって最重要課 題になっており、「子育てと家庭を支える社会」など耳 ざわりのよい言葉が言われていますが、本当のワーク・ ライフ・バランスの実現には、長すぎる労働時間を短縮 することが重要です。

右図の通り、日本では週50時間働く人が、28.1 %とだんトツに多くなっています。

労働時間の短縮の運動とともに、仲間とともに今ある 権利を活用しましょう。

1週間当たり労働時間が50時間以上の労働者の割合



ら発 \subset れ言んの まはな前 差 \overline{C}

んめ別の

らうか」と話していました。 員さんが目の前で「定年になったもまあまあで喜んでいますが、行 ましたが、 氏社にでも行って、楽させ とになりまし 今まで遅くまで忙しく働 55歳前に関連会社K社で働く 定時に終わり、 ž

楽させてもらうか」
K社にでも行って、

得できません。

んばっているのに、なぜなのかたいへんな労働条件のなかで、 やすと発表しました。 岡銀行22人だけです。 26行のうち同行より多いの ニ菱東京UFJ銀行25人と、 役員数は21人で、 滋賀銀 現場では従業員数が大幅に減り、 ·成18年3月現在、 なぜなのか納 全国銀行1 は が

126行のうち3番 朏 い役員数、

更に1

人追